



舞川小学校 創立30周年 おめでとう

11月5日(水)、PTA、地域の皆さんと共に喜びたくご案内し、舞川地区に伝わる舞川鹿子躍、蓬田神楽(鶏舞)を核にした30周年記念行事を行いました。

これは、昨年度から佐藤麻衣 PTA 会長と本校副校長が中心となり、PTA の皆様にもご協力いただきながら準備を進めてきたものです。文化庁事業の一環で WOW 株式会社が委託を受けて実施した「BAKERU の学校」は、舞川地区の郷土芸能を伝承する地域の皆さん、縦系横系合同会社の皆さんとコラボし、デジタルアートにより新たな見え方で郷土芸能を体験する企画でした。

当日は、大人の鹿子躍や鶏舞を間近に見ることができ、子どもたちも教職員も大変感動しました。あの躍動ある踊りに秘めた神や命への願い、強さと優しさに畏敬の念を抱きました。また、郷土芸能の意味を教わり、子どもたちは伝承する価値を知る機会になりました。

その後は各学級で「〇〇の神様」というテーマで、各々にお面を作成しました。子どもたちが自由に表現するお面には、普段の様子からは読み取れない子どもたちの思いや願いが込められていました。身の回りの出来事に関すること、地球環境に関すること、平和に関すること……子どもたちの願いが実現できる世の中になりますように。子どもたちが夢を実現できますように。願ってやみません。



願いのこもったお面をつけ、鹿子躍、鶏舞の世界に入る体験がプログラミングやCGを駆使したデジタルアートです。子どもの動きが鹿子や鶏の化身たちと連動し、ゲームのようなストーリーになります。この動きに関心を示す子、プログラミングなどの技術に関心を示す子、それぞれ楽しむことができました。舞川幼稚園の子どもたちや地域の皆さんにも体験していただきました。

地域との一体感を感じた1日でした。これからもこの舞川小学校は、地域の皆さんと共に、舞川の子どもたちを育て参ります。ご来校くださいました皆さんに感謝申し上げます。

(学校HPブログにも写真を掲載しております。上記二次元コードをスマホ等で読み込んでご覧ください。)

安全に気を付けて

クマ被害のニュースが後を絶ちません。寒くなってきてクマは冬眠する季節ですが、冬眠しないクマも出てきています。12月1日に、一関市役所林政推進課の方をお招きして、児童向けに「クマから身を守る学習会」を開きます。また、日が暮れるのが随分と早くなってきましたので、交通安全にも気を付けるよう、子どもたちへのお声かけをお願いいたします。

全校朝会(11/25)でのお話の概要です。「つながる」をキーワードに3つのことを話しました。

- ① 勤労感謝の日は働く人への感謝を表す日です。「働く」のは、生きるためとみんなのためです。生きがい・その仕事が好きだからという理由の人もいます。みんなのために自分から気付いて働くこととてもいい気持ちになります。
- ② 働いた人は「ありがとう」と言ってもらえると嬉しいです。「助かったよ」「嬉しいよ」「素敵だね」「私もやってみようかな」等の言葉はとてもあたたかい言葉です。舞川小学校が、あったか言葉や美しい言葉でいっぱいになればいいなと思います。
- ③ インフルエンザ等が流行っています。バスの中、お店等人が込み合うところではマスクを着用し、うつさない、うつらないことに気を付けましょう。みんなと気持ちよくつながるためのエチケット、マナーです。

